

ぐんまの赤十字



第6号

平成19年4月1日

発行：日本赤十字社群馬県支部

〒371-0833 前橋市光が丘町32-10 電話027-254-3636

URL <http://www.gunma.jrc.or.jp>

ボランティアで「笑顔のかけ橋」を 「第15回全国ボランティアフェスティバル」開催

平成18年11月3日～4日の両日「第15回全国ボランティアフェスティバルぐんま」が前橋市を中心に開催され、県内赤十字奉仕団員、職員合わせて約350名が参加しました。

このイベントは、社会福祉協議会が中心となりボランティア活動の啓発を目的に開催しているもので、今回で15回目を迎えます。日本赤十字社も主催団体の一つとして、例年開催県の支部が参加しています。

今年は多くの人があたりまえのようにボランティア・市民活動を行い「ひとと人、こころと心がつながり合う」社会になることを目標に「笑顔のかけ橋」をテーマとして開催されました。

3日は秋晴れの空の下、メイン会場である「ぐんまアリーナ」で県内のボランティア・市民活動団体を中心に80団体が参加し、全国から集まった約8,000人の来場者と様々な活動紹介や交流を行いました。本県赤十字では各種奉仕団の活動紹介や救急法体験、非常食の炊き出し等で赤十字事業の紹介を行い、中でも非常食炊き出しコーナーでは用意したカレーとお切込み合わせて1,500食が終わってしまうほどの盛況ぶりでした。

また、赤十字では会場内の武道館を使い赤十字写真展「人道の記録」と交流イベント「赤十字みんなの広場」を開催しました。

どちらのイベントも多くの方にお越し頂き成功裏のうちに終わることができました。



災害救護物資の説明



青年赤十字奉仕団による防災クイズ



ほっとケアは大盛況



奉仕団員による炊き出し

翌、4日には群馬県庁にて本県青年赤十字奉仕団が防災をテーマに炊き出しや救急法の体験コーナーを設けて来場者に活動のPRを行い、県庁内の会議室で開催した分科会では、全国から集まった人々とボランティア活動についての情報交換を行いました。

今年は愛知県にて開催されます。

平成18年度日本赤十字社群馬県支部災害救護訓練を開催

10月22日(日)、富士見村立時澤小学校を会場に災害救護訓練を開催し、赤十字施設、赤十字ボランティア等が一致団結し、「1人でも多くの命を救う」ための医療救護活動訓練を中心とした群馬県支部の総合的な訓練を行いました。

災害時においては、他機関との連携は必須になります。今回は、県内災害拠点病院、消防本部、地元消防団からの参加協力をいただき、連携を視野に入れた医療救護活動を検証することができました。

また、体育館の一部を「富士見村公民館」と想定して、負傷者にとどまらず避難者に対応する訓練も同時に実施しました。避難者には「パニック」「不安」などの心情面の想定をはじめ、「産気づく妊婦」「赤ちゃんに授乳したい

と訴える母親」「糖尿病患者」など、さまざまな状況のもと緊張感のある訓練を行いました。これには赤十字の医療救護班はもとより、赤十字ボランティアが活動に加わり情報収集や救援物資搬送に積極的に加わりました。このように、赤十字では「こころのケア」や「ボランティア」の活動を考えて災害救護活動を行っています。

なお、今回の訓練においては就職3年目の現職赤十字看護師も患者役、避難者役、担架搬送要員等で参加しています。これは「赤十字救護員研修」の一環として訓練参加を義務付けているものです。被災者に対応し得る「救護員」として登録する前に、若い看護師として広い視野を持てるようカリキュラム作りがされています。このように、赤十字では看護師教育においても力を注いでいます。



避難者に声をかけ、話を聞く看護師



緊張感の中、負傷者に対応する赤十字救護班



消防をはじめ他機関との連携は必須

赤十字について学んでみよう

～赤十字ボランティア研修会・奉仕団委員長研修会開催～

今年の2月から3月にかけて、日本赤十字社群馬県支部の主催で赤十字奉仕団員を対象とした2つの研修会が開催されました。

1つ目は「赤十字ボランティア研修会」です。この研修会は赤十字の成り立ちや歴史、三角巾の使い方等、赤十字奉仕団員としての基礎を学んでいただくことに加えて、奉仕団同士の交流を深めてもらうことを目的としています。18年度は県内4会場で開催し、123名の奉仕団員に参加していただきました。

2つ目は「奉仕団委員長研修会」です。この研修会は名前の通り各奉仕団委員長を対象として毎年1回開催しています。今回は平成19年度から新しく講習に加わる災害時高齢者生活支援講習の体験をしていただきました。

これは、災害時における高齢者の避難所生活に焦点をあてて、不自由な生活から高齢者を守るために、知っておきたい知識や技術についてまとめたものです。当日は高齢者の介助方法や毛布を使ったガウンの作り方など災害時に役に立つ技術や知識を学んでいただきました。

「赤十字ボランティア研修会」にはどの奉仕団員でも参加できます。19年度も開催する予定ですので、みなさんは是非ご参加ください。



指導講師による講義



毛布のガウンで、はいちーズ

災害時に備えて ～新たな赤十字ボランティアの輪～

『平成18年度防災ボランティア養成研修会』を12月9、10日の2日間にわたり、日本赤十字社群馬県支部にて開催しました。研修では、「講義・赤十字について」「実技演習(ロープワーク・天幕設営・情報収集)」「救急法」「シミュレーション」等、災害時にボランティアとして知っておきたい基本的な内容を学びました。参加者は、とても熱心に受講しており、防災に対する意識の高さが感じられました。そして、この研修会終了後、群馬県支部の赤十字防災ボランティアとして、新たに12名が登録しました。

※なお、今回の養成研修会参加者は、救急法救急員養成講習受講者並びに希望する個人等を対象に募集しました。



天幕設営や荷造りに役立つロープワークを学ぶ

『赤十字防災ボランティア』について

災害時に赤十字の支援を第一に考えるボランティアであるという部分が、一般の防災ボランティアとの違いです。赤十字事業を共に推進し、赤十字を支えるボランティアであるという主旨をご理解いただき、現在67名が登録しています。

学校教育に青少年赤十字を

～校長等対象青少年赤十字研修会開催～

平成18年12月12日(火)、群馬県総合教育センターにおいて校長先生方を対象とした研修会を開催しました。当日は小・中・高等学校及び特殊教育諸学校の校長先生や教育事務所、市教育委員会の指導主事の方々をはじめとし、合計293名というたくさんの方々に参加いただきました。

当日は、文部科学省初等中等教育局から宮崎視学官を講師として招き、「学校教育と青少年赤十字」をテーマに講演いただきました。また、活動発表として、カンボジア派遣事業へ参加した生徒・指導者による

報告や、学校での青少年赤十字活動の取り組み(吉井町立中央中学校)の事例、指導者の立場から見た青少年赤十字の有用性(桐生市立北小学校教諭)についてそれぞれ発表いただきました。

本県においては、青少年赤十字の学校加盟率が80%を超えており(全国第3位)、非常に青少年赤十字活動が盛んに行われています。これからも多くの学校に活用いただき、思いやりのある心豊かな児童・生徒の育成の一助となり、青少年赤十字の輪が広がることを願っています。



宮崎視学官の講演

赤十字はどんな仕事をしているの? ～中学生が職場体験学習～

平成19年2月2日(金)、前橋市立東中学校の生徒2名(2年生)が当支部に来訪し、職場体験を行いました。当日は、赤十字の活動概要について話を聞いた後、救急法の講習で使用資機材の清掃や、災害時に被災者へ配布する救援物資の整理などを行いました。

来訪した生徒は「私は将来、世界の子どものためになるような仕事に就きたいので、今回学んだことを生かし、夢を実現したい」と感想を寄せてくれました。

また、同校は春にも「総合的な学習の時間」として、赤十字の国際活動や災害について学習するために当支部に生徒が訪問してくれました。



災害備蓄倉庫にて救援物資を整理

いざという時のために…平成19年度赤十字講習会のご案内

救急法 救急員養成講習（3日間）

	期 日	時 間	会 場
第1回	4月 28日（土）～ 30日（月）	9：00～17：30	日本赤十字社群馬県支部
第2回	6月 1日（金）～ 3日（日）	9：00～17：30	前橋赤十字病院
第3回	7月 14日（土）～ 16日（月）	9：00～17：30	日本赤十字社群馬県支部
第4回	8月 20日（月）～ 22日（水）	9：00～17：30	日本赤十字社群馬県支部

救急法 基礎講習（4時間）

	期 日	時 間	会 場
第1回	5月 8日（火）	13：00～17：00	日本赤十字社群馬県支部
第2回	5月 19日（土）	13：00～17：00	原町赤十字病院
第3回	7月 21日（土）	13：00～17：00	原町赤十字病院

家庭看護法 介助員養成講習（4日間）

	期 日	時 間	会 場
第1回	6月 15日（金）・16日（土） 22日（金）・23日（土）	9：30～16：30	原町赤十字病院

災害時高齢者生活支援講習（2時間）

	期 日	時 間	会 場
第1回	5月 18日（金）	13：30～15：30	日本赤十字社群馬県支部
第2回	6月 8日（金）	13：30～15：30	原町赤十字病院

幼児安全法 支援員養成講習（3日間）

	期 日	時 間	会 場
第1回	8月 21日（火）・23日（木） 24日（金）	10：00～16：00	県立吾妻高校

幼児安全法 短期講習（2時間）

	期 日	時 間	会 場
第1回	5月 26日（土）	13：30～15：30	沼田市保険福祉センター
第2回	6月 16日（土）	13：30～15：30	館林市文化会館

水上安全法 救助員養成講習（3日間）

	期 日	時 間	会 場
第1回	6月 25日（月）～ 27日（水）	9：00～17：00	県立敷島公園水泳場
第2回	7月 9日（月）～ 15日（日）	18：00～20：30 (15日のみ13：00～19：00)	野間スイミングスクール桐生校

水上安全法 短期講習（1日）

	期 日	時 間	会 場
第1回	7月 28日（土）	9：00～17：00	県立敷島公園水泳場



5月は赤十字運動月間です。

今年度は藤原紀香さんが
キャンペーンキャラクターになります。

日本赤十字社では5月を「赤十字運動月間」として全国キャンペーンを展開します。

今年は広報キャラクターに、阪神大震災の被災経験もあり積極的にボランティア活動をしている「藤原紀香」さんを起用。

「ちょっとだけ、想像力をもってください。」をキャッチコピーに、赤十字の国内外の人道的活動や赤十字の理念を理解し賛同していただき、活動資金へのご協力をお願いをしていきます。